

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	道路橋梁総務一般事務	会計名称	一般会計		担当課	土木管理課	
		予算科目	8 款 2 項 1 目	事業番号	3460	所属長名	武智 年哉
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	福井 剛志	
法令根拠等	0				実施期間	【開始】	平成 18 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 人に優しい道路・交通体系づくり					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	本事業は総合計画において、快適空間都市の創造（人に優しい道路・交通体系づくり）に位置付けられており、適正な管理により市民の安全に寄与するものである。						
事業の対象	市道利用者		事業の目的	道路、橋梁等の市管理施設について適正な管理を行う。			
事業の内容（整備内容）	市道の街路灯修繕費用や道路新設改良に伴う一般事務、道路改良に伴う現地用地測量委託及び設計等に要する事務用品費、市道賠償責任保険料である。		評価事業としないこととした理由	本事業は、道路・橋梁等の施設を管理するための一般事務費であり、その内容は消耗品等の需用費のほか、道路賠償責任保険料など経常経費のみで、評価になじまない。			

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27 年度実績	28 年度予定	9月末の実績	28 年度実績
直接事業費	1,226	1,360	0	0	0	1,167	需用費等（消耗品、燃料費等）	千円	524	677	176	504
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	1,226	1,360	0	0	0	1,167						
職員の人工（にんく）数	0.10	0.10				0.10						
1人工当たりの人件費単価	8,042	8,086				8,086						
※ 直接事業費＋人件費	2,030	2,169				1,976						
主な実施主体	直接実施	実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）										
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）					29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	5年間の合計		
					1,403	1,403	1,403	1,403	1,403	7,015		

事務事業評価（CHECK）

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	既存施設の維持管理に必要な経費である。今後も適正な維持管理に努める必要がある。		
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由	市道（橋梁）管理費用であり、事業継続とする。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	